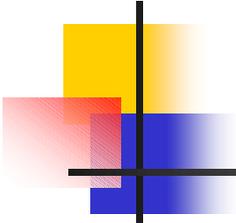
A decorative graphic on the left side of the slide, featuring a vertical black line that intersects a horizontal grey line. To the left of the vertical line are three overlapping squares: a blue one at the top, a red one in the middle, and a yellow one at the bottom.

# IPv6とマルチホーム

---

NTT情報流通プラットフォーム研究所  
藤崎 智宏



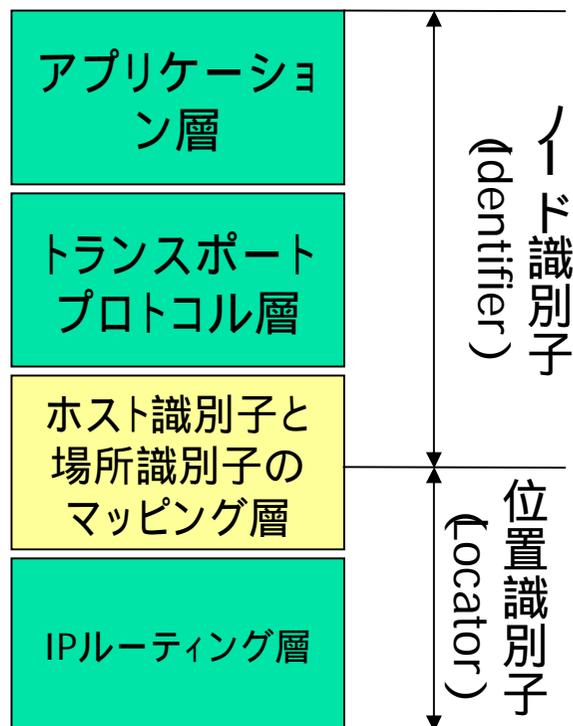
## IPv6でマルチホームしたいですか？

---

- IPv6は、経路の集約を至上命題にしています。
  - 今のところ、「合法的にマルチホーム可能なアドレス」は、ISPクラスのネットワークのみ取得できます。
- IPv6では、「マルチホーム」を、「IPv6らしい方法でできるようにしよう」と考えていました。
  - いえ、今も考えています。

# IPv6でのマルチホーム：標準化の動向

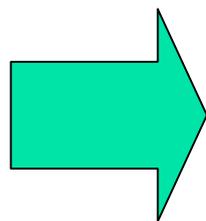
- IETFでは IPv6のマルチホーム手法について、multi6 WG でデザインを実施，今後 shim6 WGにてプロトコル詳細を決める予定です。



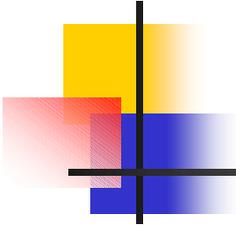
標準化中のマルチホーム手法  
同時に複数のISPにつながり，複数のアドレスを持ちます。  
おざっぱに言うと，モバイルIPで，気付けアドレス (care-of address) を複数同時に使えるようにして，動的に切り替えられるようにしようという感じ，です。

## 標準化なんて待ってられない！

- 今すぐにマルチホームしたい, という要求は実は多い?
  - なぜか, もっともIPv6が流行っていない(と思われる)アメリカ方面から...
    - ARINでは, 実際にPIアドレスを作ろう, という提案まであがっており, 議論になっている
    - ビジネスユーザには必須だ, IPv6を入れるには必要, という論調.



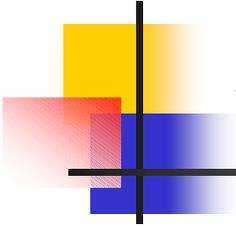
経路表サイズの懸念が主な要因で, 継続議論, となっています.



# 日本では？

---

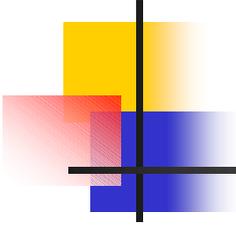
- 日本ではどうでしょうか？
- IPv6でも,PIアドレスは,必要？



# JPOPMでは...

---

- 7月7日開催のJPOPM8では,
  - 具体的な要望があったという報告有り
    - IPv4でできていることが, IPv6でできなくなるのは困る.
  - プロバイダに依存しない, という意味での需要
    - 新しいIPアドレスの使い方
      - 組み込み用途など



# 参考

---

- IETF multi6 WG/shim6 WG
  - <http://www.ietf.org/html.charters/shim6-charter.html>
  - <http://www.ietf.org/html.charters/multi6-charter.html>
- PI の最近のドラフト
  - <http://www.ietf.org/internet-drafts/draft-hain-ipv6-pi-addr-08.txt>
  - <http://www.ietf.org/internet-drafts/draft-hain-ipv6-pi-addr-use-08.txt>
- NANOG 3 4 でのIPv6マルチホームに関する議論
  - Inter-AS Traffic Engineering Case Studies as Requirements for IPv6 Multihoming Solutions
    - <http://www.nanog.org/mtg-0505/schiller.html>